

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	大八木 時広		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1202	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、および自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K [表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を高めることができる。 D P 8－M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック(CR)との関連 E1 学識・専門技能-20% F1 探求力-20% F2 課題解決-10% G1 状況把握-10% K1 ライティング・コミュニケーション-10% K2 オーラル・コミュニケーション-10% L1 チームワーク-10% M1 統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、卒業論文につながる個人研究に関する研究方法、調査手法などを確立するために、その学術的方法論の検討と指導を行います。授業形態は演習により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンラ		

	イン授業(ライブ配信型)を取り入れます。 ■ キーワード 個人研究テーマ、社会的問題意識、研究手法	
授業の趣旨	■ 副題 個人研究のテーマを探し、設定します。 ■ 授業の目的 この授業では専門的な研究・リサーチを進めるための方法論や手法を身に付け、個人研究のテーマを設定することを目的とします。 ■ 授業のポイント 自分の問題意識を、研究テーマの設定・決定に適切に結びつけることに重点を置きます。	
総合到達目標	■ 研究に必要な方法論を身に着けることができる。 ・国際政治学に関して、客観的かつ論理的な分析方法についての知識を身に着けることができる。(第1～15回) ・国際政治学に関して、客観的かつ論理的な分析方法を選択することができる。(第1～15回) ■ 個人研究を進めるのに必要な知識を身に着けることができる。 ・適切なデータや資料を検索することができる。(第1～15回) ・データや資料を客観的かつ論理的に読むことができる。(第1～15回) ・資料から適切に専門知識を得ることができる。(第1～15回) ・データや資料を客観的かつ論理的に分析することができる。(第1～15回)	
成績評価方法	■ レポート3回(100%)：適用ルーブリック E1・F1・F2・G1・K1・K2・L1・M1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身についているか、テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。 (フィードバック) 解説は後日、クラスルームで配布します。	
履修条件	ゼミナールⅠを履修し、単位を取得していることが条件です。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 研究テーマの設定(F2)、文献読解、資料とデータの検索と収集(E1,F1)、分析、研究報告(G1,K1,K2,L1,M1)について説明する。 ③予習(120分) ゼミ生は個人研究のテーマ決定に必要な文献・資料を読んでおく。 ④復習(120分) 各人、自分の研究テーマ決定のための準備作業を行う。
	2	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ読解、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
	3	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ読解、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
	4	①授業テーマ 個人研究報告

	②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
5	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、ポータルサイトで配布する。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
6	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
7	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
8	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
9	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、

	資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
10	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、ポータルサイトで配布する。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
11	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
12	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
13	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
14	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティーに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、ポータルサイ

	トで配布する。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は振り返りも併せて行う。
15	①授業テーマ 個人研究報告 ②授業概要 グローバル・セキュリティに関して、自ら研究テーマを設定し(F2)、文献を読み、資料とデータの検索と収集を行い(E1,F1)、分析し、研究報告を行う(G1,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(180分) 研究報告者は文献講読・データ詮索、分析、報告資料作成を行う。他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料を読んでおく。 ④復習(60分) 研究報告者は発表に対する質問や指摘の論点整理を行う。各ゼミ生は一年間を通しての振り返りも併せて行う。
関連科目	ゼミナール I (RMGT4601)、政治学1(RMGT1139)、国際政治学(RMGT3552)、国際法(RMGT3451)、外交史(RMGT3556)
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	個人研究に必要な参考文献は、適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 木曜日・金曜日昼休み。アポイントを取って下さい。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 グローバルセキュリティ領域50%：パブリックセキュリティ領域30%：災害マネジメント領域10%：情報セキュリティ領域10% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

